

大和川流域LETTER

令和5年11月号

大和川河川事務所の事業や取り組み状況をお知らせします



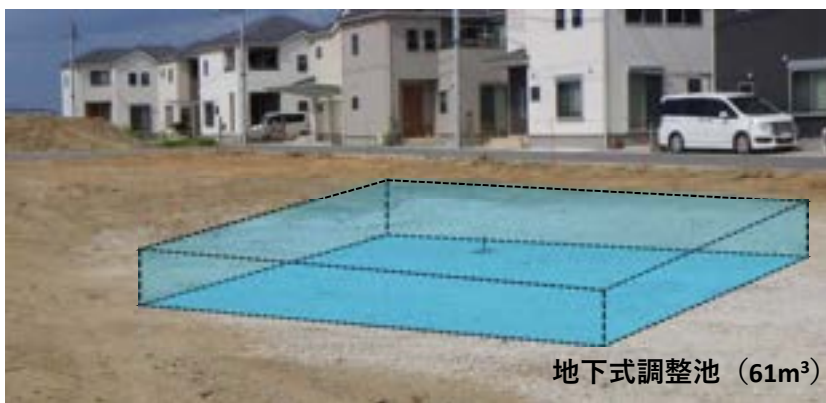
【大和川流域における流域治水の取り組み＜企業の取り組み＞】

- ・流域治水は、全国の災害を踏まえ、**上流の山側や下流の氾濫地域において、都市計画や下水道、民間企業などあらゆる関係者が協働して水災害対策を実施することです。**
- ・大和川流域では、昭和57年洪水以降、奈良県や沿江市町で総合治水として対策を進めてきましたが、併せて都市化に伴う流出抑制として、民間開発においては、防災調整地の整備を進めてきました。
- ・**現在も奈良県下で0.1ha以上の開発を行う際には、防災調整地の設置が条例で義務づけられています。**

R4年度宅地開発（約2600m²の開発）【住宅敷地+道路】



調整池（約200m³）



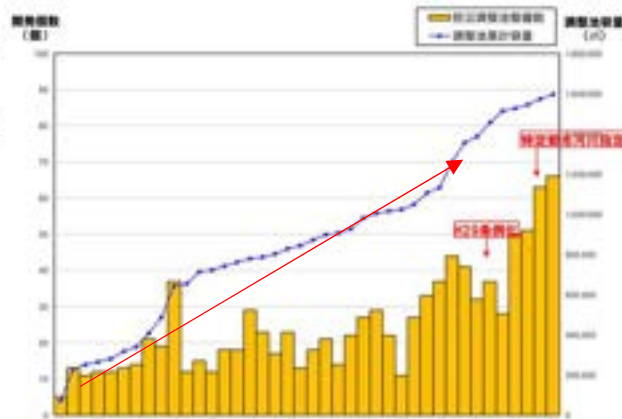
地下式調整池（61m³）

R5年度 コンビニ開発地における調整池整備（約1700m²の開発）

- ・民間企業においては、条例化や特定都市河川指定されても、継続して開発に伴う調整池が整備されています。
- ・開発は民間だけでなく、大きな道路整備においても調整池整備を行っています。



大和中央道整備に伴う調整池（約3600m²の開発）【道路】



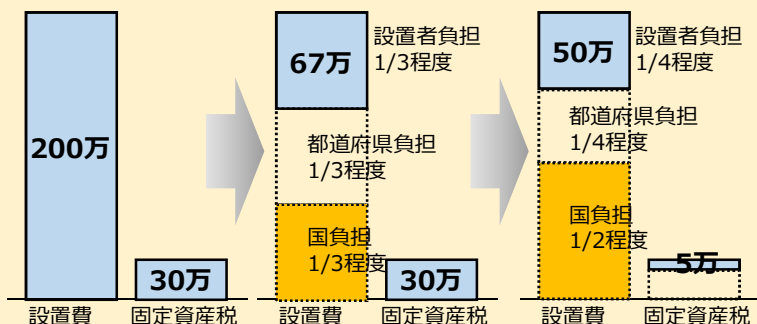
- ・民間企業における防災調整池の整備においては、必要以上の整備を行う場合に、交付金による補助を行うことができます。

＜特定都市河川流域における民間調整池拡大の支援＞ 令和3年11月以降負担額のうち、国の補助が1/2に格上げされました。
固定資産税の課税標準を市町村の条例で定める割合に軽減されます。

＜支援無＞
負担総額：230万

＜交付金による支援＞
負担総額：97万程度

＜特定都市河川流域での支援＞
負担総額：55万程度



大和川らしい調整池

- ・奈良盆地では、古墳や城跡の外堀も調整池として利用されています。

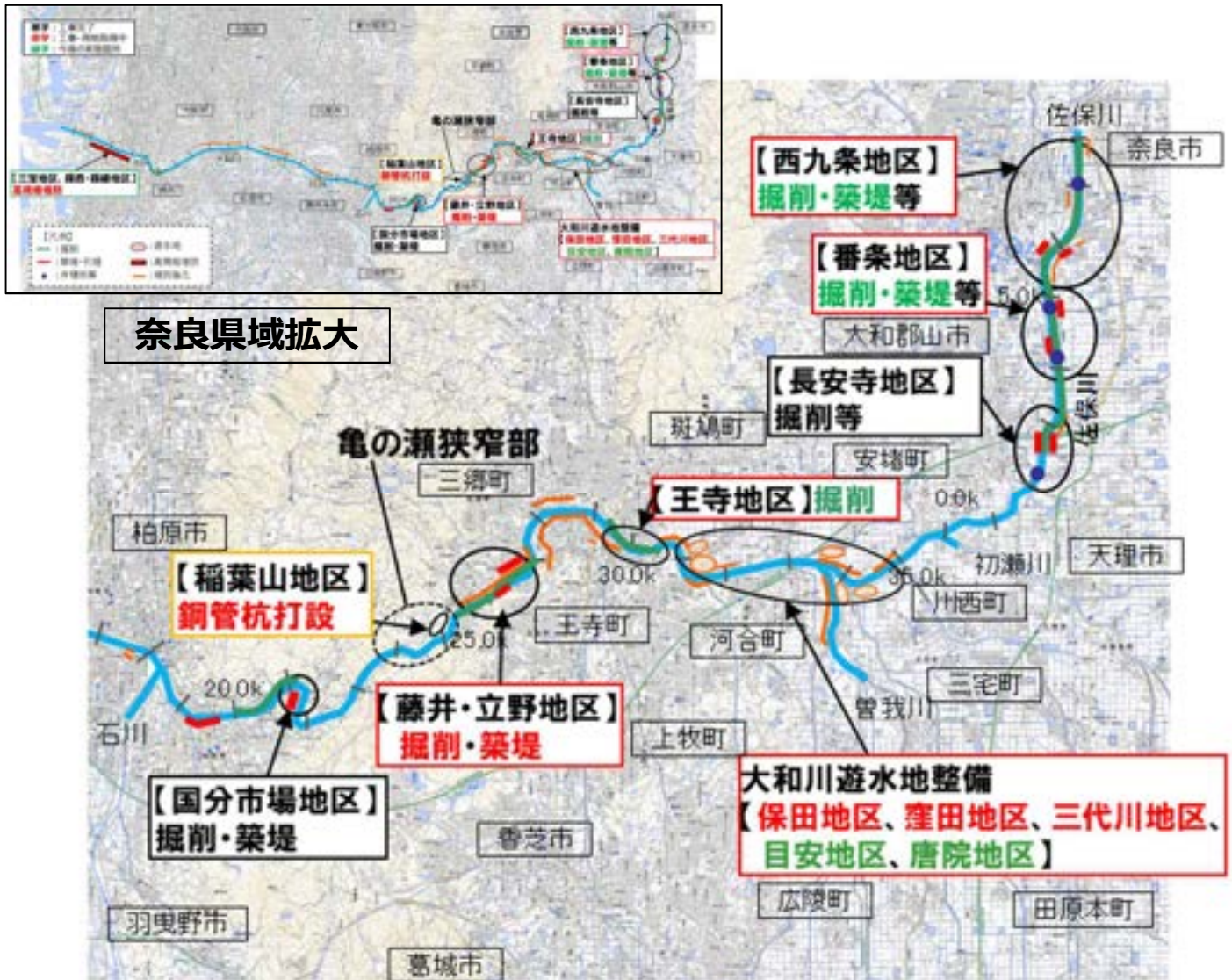
郡山城跡鰻堀池の治水利用



鳥の山古墳外堀の治水利用



大和川の河川整備状況



【今月のコラム】 出水期間が終わり、大和川の河川工事が動き出します！

- ・大和川では、毎年6月1日から10月31日までを出水期間として、一般的に梅雨や台風に伴う降雨により河川が増水しやすい時期として、堤防に影響を与える工事や洪水の流下に支障となる工事は原則行わないこととしています。
- ・11月に入り、出水期間を過ぎましたので、護岸工事や河川の掘削工事などが本格的に動き出します。

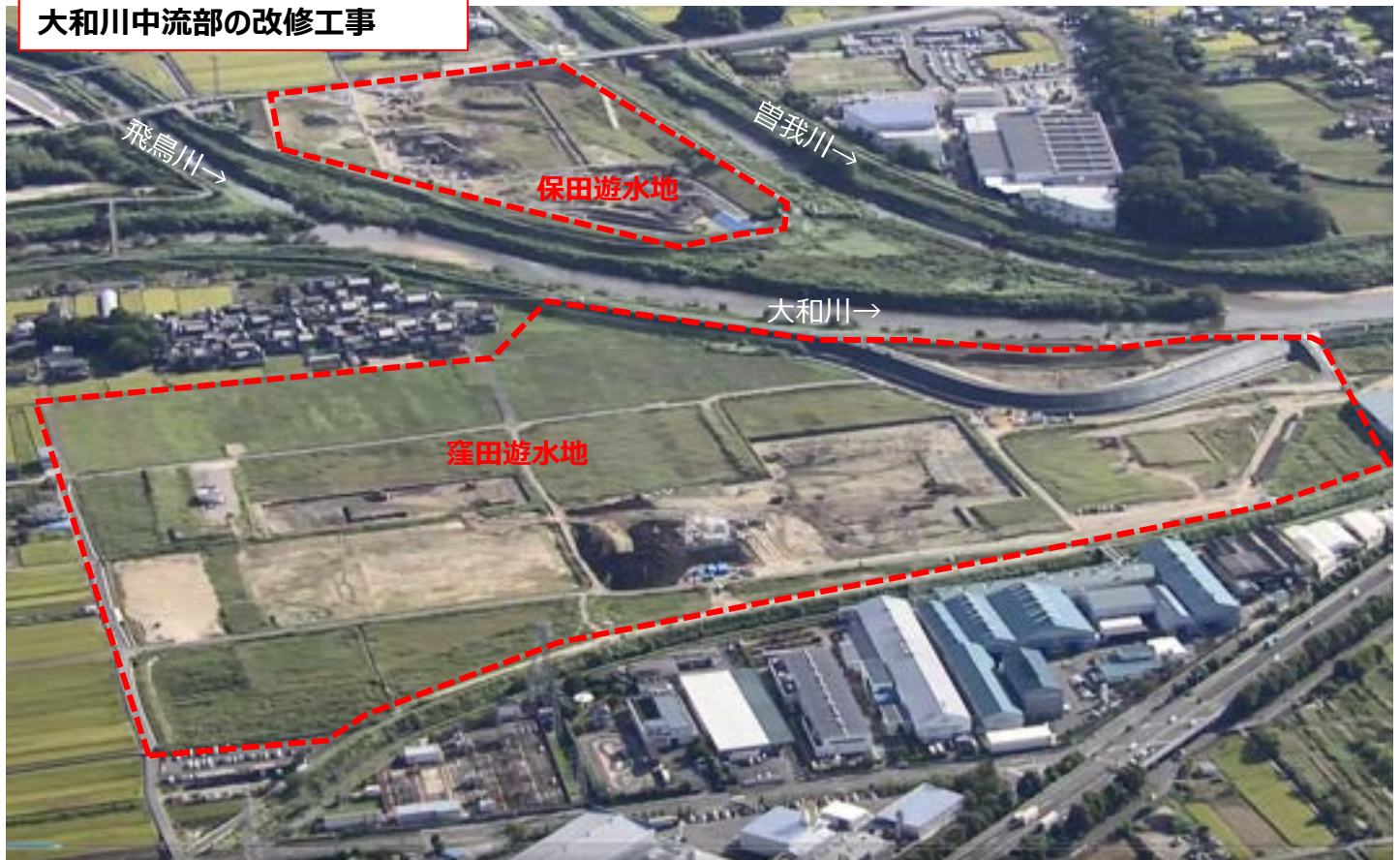


下流高潮堤防の補修工事



河川内の掘削工事

大和川中流部の改修工事



大和川遊水地整備【窪田地区】

- ・堤防開削が概ね完了し、排水門の本体函渠工事に着手しています。
- ・遊水地の掘削工事を進め、すでに3万m³以上の掘削が完了し、周囲堤の一部が完了しています。

堤防掘削状況



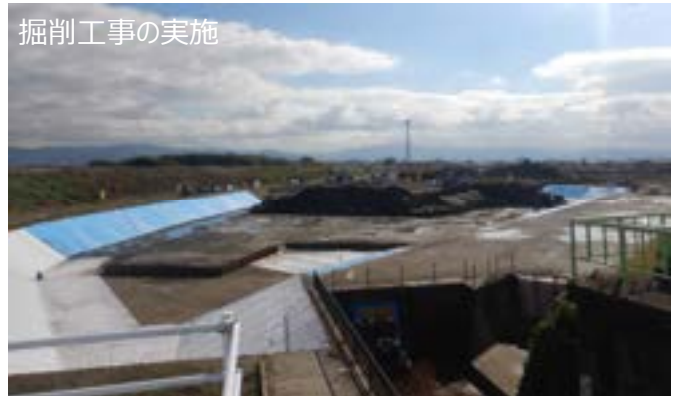
遊水地内の掘削状況



大和川遊水地整備【保田地区】

- ・遊水地の北側では最終底面まで掘削が完了し、引き続き遊水地内部の掘削を継続します。

掘削工事の実施



【藤井・立野地区】

- ・出水期が終わり、11月より5万m³の河道掘削を開始しました。



河川内の掘削工事に着手



大和川河川事務所の事業や取り組み状況をお知らせします

大和川のゴミ問題を知っていますか!?

- ・大和川は平成19年度まで日本で最も汚い川でしたが、近年は下水道の整備や環境改善等で環境基準をクリアした河川となり、天然アユも奈良の中流部（大和郡山市）まで遡上を確認しています。
- ・しかし、大和川では以前川のゴミが多く、特に生活ゴミやペットボトルが多く、洪水時にはゴミが引っかけり、さらに流れにくい川になっています。捨てる人は軽い気持ちかも知れませんが、河川管理者や大和川を愛する多くの人たちは本当に悲しんでいます。ゴミを捨てる心ない人がいる一方で、意欲的にゴミ拾い活動をしていただいているボランティアの方々もたくさんいます。
- ・決められた場所以外にゴミを捨ててはいけないという当たり前のことをできるだけ多くの人に伝えることです。未来の為に当たり前のモラルやマナーを守る社会づくりをしていきましょう。

愛護モニター活動報告

河川愛護モニターからもゴミの報告は多数寄せられ、どこかでゴミを捨てられることは見られています。



- 活動日：令和5年8月27日（日）
- 場所：大和川右岸6.3km付近
- 内容：特定のアーティストのCDやペットボトルの投棄



- 活動日：令和5年9月3日（日）
- 場所：佐保川3.2km付近
- 内容：井堰に引っかかるゴミを農家の方が処理

一般の市民の方々がゴミ拾い促進アプリ

「pirika」で集まり、ゴミ拾いをしていただきました

- ・10/15 6名の方が大和川のゴミ拾いをしていただきました。拾ったゴミは大和川河川事務所で処理させていただきました。



地域でのゴミ拾い

- ・河川愛護モニターさんがモニターするだけでなく、ゴミ拾いをしていただいています。
- ・また、沿川の大学生によるゴミ拾いなど各地域でゴミ拾いを進めてもらっています。

- 活動日：令和5年9月9日（土）
- 場所：大和川右岸3.5km付近
- 内容：夢拾い第43回を開催しました。毎月第2土曜日と第4日曜日に開催している夢拾い。今回は買い物かごや掃除機の先端、バイクの荷台など面白いゴミがたくさん見つかりました！



- ・大阪大学の学生は、大和川の洪水時のゴミの流下状況を観測するにあたり、木に絡まったゴミを除去。
- ・ヤナギ一本にもゴミ袋5袋程度のゴミが回収されました。

